

平成30年6月の北陸地方整備局管内の水文・水質状況

北陸地方整備局管内一級河川の主要な水文・水質観測所における観測結果及び水質事故の状況について発表します。

なお、掲載の数値は速報値であり、確定値と異なることがあります。

平成30年6月の概要は、次のとおりです。

○生活環境項目のBODは、2地点で環境基準値を上回る値を観測しました。

- ・常願寺川水系 常願寺川 常願寺橋地点 BOD 2.4mg/L(環境基準値1.0mg/L)
- ・小矢部川水系 小矢部川 国条橋地点 BOD 2.5mg/L(環境基準値2.0mg/L)

○健康項目で、環境基準値を超えた地点はありませんでした。

○要監視項目で指針値を超えた地点はありませんでした。

○6月の水質事故発生件数は11件でした。

- ・北陸地方整備局に通報のあった水質事故は、11件でした。
 - ・流出物質別では、油類7件、農薬・化学物質1件、その他3件でした。
 - ・事故原因別では、取扱い不注意が3件、機器の破損2件、交通事故1件、その他5件でした。
 - ・県別では、新潟県8件、福島県1件、長野県1件、石川県1件でした。
- ※主な水質事故の概要は別紙のとおりです。

なお、本資料に関するデータ等については、北陸地方整備局ホームページにおいて提供していますので、そちらをご覧ください。

(ホームページアドレス <http://www.hrr.mlit.go.jp/river/suisitu/suicon.html>)

取 扱 い

配布をもって解禁

同時資料配付記者クラブ

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
富山県政記者クラブ
石川県政記者クラブ
福島県政記者クラブ
長野市政記者クラブ
長野県庁会見場

問 い 合 わ せ 先

国土交通省

北陸地方整備局

水災害予報センター長 田邊 雄司 (内線 3851)
課 長 補 佐 谷口 和哉 (内線 3853)

☎ 025-280-8880(代表)
025-370-6770(直通)

北陸技術事務所(水質分析機関)

品質調査課長 江川 康夫 (内線 351)

☎ 025-231-1281(代表)
025-231-8037(直通)

(別 紙)

北陸地方整備局に通報のあった主な水質事故の概要

発生年月日	水系名	河川名	原因物質の量	事故発生場所	事故の概要
2018/6/18	関川	関川	38%硫酸、最大600L	新潟県妙高市	妙高市の工場で、希硫酸(38%硫酸)が工場敷地内に漏洩し地下浸透した。配管ジョイント部のナットが緩み漏出したもので、流出量は最大で600L。汚染土を掘削・除去し対応した。場内のモニタリング井戸でPHを測定し異常がないこと、また、河川での水生生物のへい死等はないことを確認した。
2018/6/22	信濃川	中ノ口川	油種不明、最大40L	新潟県新潟市南区	河道掘削工事中に、河道に埋設していたドラム缶(40L)に掘削重機が接触し油が湧出した。オイルフェンスを設置し、埋設していたドラム缶を撤去し対応した。農業施設で取水を停止(4箇所)したものの、翌朝には異常は確認されず、取水を再開した。
2018/6/23	阿賀野川	藤川 (宮川支川)	軽油、推定100L	福島県会津美里町	会津美里町の側溝に、農業機械用備蓄軽油タンクのコックの閉め忘れによる推定100Lの軽油が流出した。藤川に流出が確認されたことから、マットを設置し対応した。
2018/6/29	信濃川	魚野川	灯油、推定10,000～12,000L(調査中)	新潟県南魚沼市	南魚沼市のホテルにおいて、灯油タンクの配管が破損し、推定10,000L～12,000L(調査中)の灯油が地下浸透した。破損した埋設配管の使用はやめ、地上配管へ変更し対応している。現状、河川及び近傍の井戸等へ影響はないことは確認したが、今後も継続して確認を実施する予定。配管の破損箇所や灯油の浸透した土砂の対応等は調査、検討中。